



教育委員会

朝の見守り プロジェクト

標津町教育委員会では、児童・生徒に対する不審者の事件等を未然に防止することや、あいさつ運動の定着などを目的とした、朝の見守りプロジェクトを実施しております。見守りする日にちは定めておらず、児童・生徒の登校時間に合わせて、町内通学路（標津・川北地区）を教育委員会職員が不定期に見回りをするものです。全国的に、不審者の目撃や事件なども起きていることから、児童・生徒が安心して登校できるよう見守りつつ、元気なあいさつが飛び交う町づくりを励行していきます。

令和2年度 標津きらり大学 称号授与・表彰者紹介

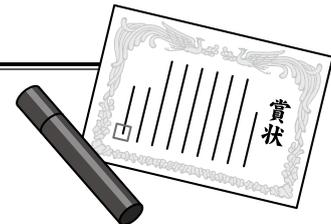


標津きらり大学では、町が主催する教室や事業に参加し、一定以上の単位を取得した方に成果を称える称号授与式を行っております。今年は新型コロナウイルスの影響により、称号授与・表彰式が開催できなかったため、個別で表彰を行いました。

今年度は中止となる事業が多く、単位の取得機会がとても少ない状況にあります。新型コロナウイルスが早く終息し、事業が開催できることを願っておりますが、その際はぜひ積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

称号授与・表彰対象

- ★きらり大学「学士」 【50単位】：岡部千世子さん
- ★きらり大学「修士」 【100単位】：大垣結愛さん
- ★きらり大学「博士」 【150単位】：岡部登志子さん、青木力哉さん、太田浩子さん
- ★きらり大学「教授」 【200単位】：遠藤幸男さん
- ★学 長 賞 【500単位】：岡部清弘さん、岡部清治さん、斉藤俊己さん、斉藤はやさん



第5回

元気に頑張る標津の子サミット



令和元年12月14日(土)に開催された「第5回元気に頑張る標津の子サミット」で発表していただいた児童生徒の発表内容を連載しており、最終回の今回は標津高等学校の発表をご紹介します。

本事業は、毎回テーマに合わせた各校の取り組みを広く町民の皆さまへアピールしていき、頑張る子どもたちを町全体で育てていくことを目的として実施しています。

今後とも、子どもたちの頑張りを地域全体で支援していく体制づくりへのご協力をお願い申し上げます。

① 標津高等学校

発表者 《2年生》・大隅 颯士郎 (現3年生)

発表者 《1年生》・清水端 結麻 (現2年生)

発表テーマ 元気な標高生が取り組む生徒会活動～それいけ!! 標津の子～

みなさんこんにちは、標津高校生徒会1年、清水端結麻と、同じく生徒会2年、大隅颯士郎です。

本日、標津高校の生徒会が行っている取り組みについて報告させていただきます。

まず、私たちは、標津町元気の子サミットで『元気な標高生が取り組む生徒会活動。～それいけ!! 標津の子!～』という題名で発表をしますが、この題名にした理由は、標津高校で行っている取り組みについて知ってもらうだけでなく、この発表を見た、聞いた方にも参加していただけたらいいなと思いついて『それいけ! 標津の子!』というサブタイトルを付けました。

まず初めに、生徒会が中心となって行っている学校行事について説明します。生徒会が中心になって行っている活動は4つで、学校祭、壮行会、生徒総会、対面式、この四つになります。

7月にある学校祭では、生徒会が司会やポスター作り、プログラムを決めるなどの運営をしています。学校祭は生徒のパフォーマンスを見せる場なので、運営を行う生徒会にとって、学校祭は一番の力の見せ所となります。運営次第によっては、全校生徒や先生全員の一生の思い出に残るような最高の学校祭を作り上げることができます。

5月にある壮行会は、全道大会へ出場する部活生たちを送り出す式で、生徒会が部活生に対してエールを送ります。部活性が最高のパフォーマンスを発揮できるように、最高のエールを届けています。

先ほどと同じく、5月にある生徒総会は、標津高校の生徒会活動をより良くするための会議で、クラスでの話し合いの後、全校生徒が集まり生徒会が中心になって会議を行います。これからの学校生活が懸かっている会議なので、全校生徒は真剣に取り組んでいます。

4月にある対面式は、新入生に部活動や学校生活を紹介する行事で、生徒会では司会や企画、運営各部との調整を行います。部活の部員を勧誘する行事なので、グダグダしないようしっかりとした運営を心がけています。

これが生徒会で行っている主な行事になりますが、このほかにも標津高校独自の活動を生徒会で取り組んでいるので、“どのような活動を行っているか”や“なぜ行っているか”、“これからその行事をどうしていきたいのか”を中心に説明します。

その主な活動は、「あいさつ運動」「ごみゼロ運動」「防災・減災活動」の3つになります。

まず、ごみゼロ運動の説明です。最初に、ごみゼロ運動という活動をなぜ行っているかについてお話しします。原点は、羅臼高校との生徒会交流で、標津と羅臼に関係している、世界自然遺産の知床に何かできることはないかと考え、この活動を始めました。主な活動ですが、5月30日、ごみゼロの日に標津町の海の公園でゴミ拾いを行っています。この時、羅臼高校でも知床に面している海で同じことをし



ています。羅臼高校との共同作業なので生徒全員のモチベーションが上がっています。

今後ごみゼロ運動という活動を未来へつなぎ、様々な人を巻き込み、知床の完全なごみゼロを目標として活動していきたいと思います。あわよくば、北海道のごみゼロも目指せたらいいなと思います。

そのためにも、ここにいる皆さんにも一緒にごみゼロ運動に参加してもらい、学校や地域の人にこの活動を広げて欲しいと思います。広がることによって、北海道ごみゼロが夢ではなく現実になるかもしれません。



次にあいさつ運動の説明です。最初に、あいさつ運動という活動をなぜ行っているのかについてです。

学年間の壁をなくすためにコミュニケーションの一つとして、あいさつ運動ができました。主な活動としては、春、秋に中学生や地域の人たちと一緒にあいさつ運動を行っているほか、金曜の朝8時から標津高校の玄関であいさつ運動を行っています。早起きするのがつらいですが生徒とあいさつを交わすのがとても最高なので僕たちは頑張っています。朝に起きれないのはたぶん僕だけかもしれませんが…。

これからのあいさつ運動ですが、規模を大きくして、もっとたくさんの人を巻き込む活動をしていこうと思います。

そのためにも、皆さんは日ごろから挨拶をしていると思います。中学生の人はあいさつ運動を行っていると思いますが、この活動をこれからも続けてほしいと思います。続けることによって、周りの人が影響されて、どんどん規模が広がっていくと思うので、あいさつをこれからも続けてどんどん周りの人を巻き込んでください。

次に防災減災活動です。最初に、防災減災活動をなぜ行っているかです。防災減災活動は、ほかの学校との交流でHUGという避難所運営ゲームを行ったのがきっかけで、標津高校は町の避難所として指定されていることから、授業や地域の人たちと行うHUGのマップを標津高校に設定して行いました。そこからいろいろな活動に分かれて、防災減災活動ができました。主な活動としては、HUG活動、ボランティア活動、避難所運営、防災発信の4つになります。

まずHUG活動についてです。この活動では、地域の人や生徒会交流の場、語る集いの場などで、いろいろな人とHUGを行っています。HUGは防災減災活動の基盤となるので、いろいろな人とHUGを行い、様々な考えを取り入れ、様々な活動に派生させることができます。HUGをすることによって、地域の人たちとの交流がとても大切だということを実感しました。高校生でも、地域の力になれる、ということを実感できました。

次にボランティア活動についてです。ボランティア活動では、福島で被災地へのボランティアを行ったり、胆振東部地震や、前にあった台風19号の被害に対しての募金をしています。すぐに被災地にボランティアに行くことはできませんが、募金という形で被災地へ貢献していきたいと思っています。

次に避難所運営についてです。避難所運営は、学校を避難所として運営するために高校生がどのような活動ができるかを考え、実行する活動です。実際に学校を避難所として考え、どのように運営するかをパワーポイントにまとめて、町役場で発表しました。さらに、津波の被害にあった奥尻島へ研修に行き、避難所運営について学びました。そのほかにも、標津町の災害を想定した、標津町のオリジナルHUGを作成したり、避難所運営での考えをもとにHUGを実際に行う、リアルHUGを冬休みに行うことを考えています。

次に防災発信の活動です。防災発信の活動では、学校祭で防災展示のブースを設置したり、授業を使ってボランティア活動の報告をして、地域の人に対して今まで学んできたことや、やってきたことを報告します。ここで僕たちは、地域の人たちが安心できるような活動を見せつけます。

これからの防災減災活動についてですが、HUGやボランティアをもっといろいろな高校と一緒にいたり、防災活動をこれから先につないで、防災減災活動の規模を大きくします。

そのためにも、これからも防災減災活動を続けていきたいと考えているので、ここにいる皆さんがもし興味を持ったなら、僕たちと一緒に活動しませんか？例えば、皆さんとHUGを行ったり、一緒にボランティアを行えたらいいなと思います。

最後になりますが、僕たちはこれからも様々な活動に取り組み、様々な人を巻き込み、標津高校生としてこの標津町に貢献できる活動をしようと思います。でも、僕たちだけの力では小さいので、もしこの発表を聞いて、この活動に参加したいと思ったら、ぜひ僕たちに声をかけてください。

子どもたちの笑顔をつなぐ 標津町の園小中高一貫教育 新たな保育と幼児教育のかたち「認定こども園」

幼保連携型認定こども園は、近年の少子化問題、核家族化、保護者の就労状況の変化などによって子育て支援のニーズは高まってきていることから、子どもを取り巻く様々な問題を解決するための重要な役割を担っています。本町の幼保連携型認定こども園“あおぞら”と“にじいろ”では、幼児教育・保育を提供し、0歳から5歳までの育ちを一貫して支えています。ここに遊びを通して総合的な活動に汗し、笑顔かがやく園児の姿を紹介します。

標津認定こども園～あおぞら



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

具体的な姿を通して幼児教育と小学校教育の相互理解を進めることを目指し、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が提示されました。

砂場で遊ぶ子どもたちは、楽しく活動できる環境の中で、自由な発想での遊びを通して協同性や思考力が芽生えています

➡ **適切な教育刺激により、非認知能力が育ちます。**

運動遊び

定期的な「標津町子ども元気アップ大作戦」の活動や、リトミック・運動遊びを通して楽しく自然な形で体力の向上や運動の習慣化を図っています。

「はう」運動遊びは、身に付けたい36の基本動作の一つです。子どもたちは、運動遊びを通して心も体もたくましく、伸び伸びと行動する力を身に付けています。リトミックは、子どもたちが意欲的に取り組み、盛り上がる運動遊びです。



➡ **幼少期の運動の経験や好き嫌いは、その後の運動習慣や体力に影響を与えます。**

川北認定こども園～にじいろ



自ら選ぶ活動

朝は、決められた設定保育ではなく、自ら選ぶ活動を通して子どもの興味や関心に応じて主体的に活動を進めています。室内では制作活動、ごっこ遊び、ぬり絵や折り紙、運動遊び（鉄棒や跳び箱）など、園庭では砂や水を使った遊び、園庭林の探検やボール遊び、遊具遊び等の遊びを通して様々なことに気付き、友達との関わりを深めています。

振り返る活動

遊び（活動）の後には、一人一人の子が達成感や自己有用感を味わえるように自分を振り返る場を設定しています。時には遊びの中でキラリと光る行動が見られた時は、保育教諭がその言動をみんなの前で取り上げ、その子の自己肯定感へつなげ、今後の活動や園生活への意欲を高めます。幼児期に培われた「自分はできる」という感覚や自信は、これからの心の成長や学習への大きな基盤となります。



2園では、遊びの中で育っている3つの力「自ら学ぶ力」「人と関わる力」「生活する力」と子どもたちの笑顔を小学校につなぎます。



早寝早起き朝ごはん運動と ラジオ体操の推進について



町教育委員会と健全な青少年を育てる標津町民の会では、子どもの早寝早起き朝ごはん運動やラジオ体操の推進をしています。

子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動やバランスのいい食事、十分な休息と睡眠が大切です。

普段から、早寝早起きを実践していただき、元気にラジオ体操に参加し、朝ごはんをしっかり摂るといった生活リズムを作ってみてはいかがでしょうか？

また、夏休み期間中のラジオ体操には多くの子ども達が参加をしますので、町民の皆様もお近くの方を誘って参加してみてください。

夏休み
ラジオ体操

午前6時30分～

- ◆標津 8月8日～16日
図書館前駐車場
- ◆川北 8月8日～16日
生涯学習センター 駐車場



★問合せ：町生涯学習センターあすぱる（☎82-2900）まで



地域おこし 協力隊

活動報告

こども元気アップ大作戦

標津・川北両こども園の園児を対象にした、「こども元気アップ大作戦」が今年で2年目になりました。今年度は新型コロナウイルスの影響により4・5月の教室が中止となり6月からのスタートとなりました。1回目の教室は鬼ごっこをはじめとした全体遊びを行いました。鬼ごっこやボール拾いなどでたくさん走り回り、動物の動きのマネなどで様々な体の動かし方を体験しました。私たちが考えてきた遊びに積極的に取り組んでいて、一つ一つの運動を楽しそうに行ってくれました。

2回目の教室は、走る・ジャンプを主とした遊びを行いました。鬼ごっこやボール遊びに加えて、フラフープやハードルなどを使用したジャンプ遊びを行い、両足、片足でジャンプをして飛ぶことやバランスをとることを遊びで体験してもらいました。子どもたち全員上手にジャンプをすることができていました。



こども元気アップ大作戦



スポーツ体験教室

スポーツ体験教室

スポーツ体験教室も新型コロナウイルスの影響により、4・5月の教室が中止となり6月からのスタートとなりました。体育館の花壇の花植えや体育館内のアリーナでふまねっと、サーキット、ストラックアウトといったレクリエーションをしてたくさん体を動かしました。ふまねっとはリズムに合わせながら動く運動なので、子どもたちは苦戦しながらも真剣に考え、できなくても諦めないで取り組んでいました。

参加申込を受け付けていますので気になる方はぜひ参加してみてください。



事業・行事名	期 日	時 間	対 象	会 場
標津オープンパークゴルフ大会	8/2	9:00	一 般	川北PG場
こども元気アップ大作戦	8/4	9:00	園 児	標津こども園
ウォーキング広場	8/5、7、12、14、19、21、26、28、 9/2、4、9、11、16、18、23、25、30	18:30	一 般	町 内
東日本2部野球支部大会	8/9	9:00	一 般	球 場
第5回かでのる講座	8/18	13:30～	一 般	あすばる
図書館カフェブロ	8/20、9/17	13:30～15:00	一 般	図書館
管内中学生新人野球支部大会	8/22	9:00	中学生	球 場
第41回町民300歳ソフトボール大会	8/23	8:30	一 般	球 場
第10回北方領土返還要求町民パークゴルフ大会	8/23	9:00	一 般	忠類PG場
商工会生き生きパークゴルフ大会	8/30	9:00	一 般	川北PG場
こども元気アップ大作戦	8/31	9:30	園 児	川北こども園
スポーツ体験教室	8/31、9/14	16:00	小中学生	総合体育館
第11回標津地区町内会対抗親睦パークゴルフ大会	9/6	9:00	一 般	標津PG場
ストレッチ講座【健P】	9/7、14	19:00	一 般	あすばる
ファミリーバドミントン教室	9/8、15、29	19:00	一 般	総合体育館
第6回かでのる講座	9/11	13:30～	一 般	あすばる
秋のあいさつ運動街頭啓発	9/14～9/18	7:35～	幼児～一般	標津・川北各通学路
大菅小百合氏「夢の教室」	9/24	10:00	2年生	標津中学校
こども元気アップ大作戦「大菅小百合氏 運動遊び」	9/25	9:00	園 児	川北体育館
スポーツゲームスイン「大菅小百合氏スケート陸トレ教室」	9/25	16:30	小中学生	町営リンク
大菅小百合氏「親子夢教室」	9/26	9:00	園 児	総合体育館
JA標津パークゴルフ大会	9/26	9:00	一 般	川北PG場
野付半島丸ごとウォーニック【健P】	9/27	7:30	小中高一般	野付半島

※【健P】は健康ポイント対象事業です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。詳細は各担当へお問い合わせください。

館内展示のお知らせ

標津町民祭り「水・キラリ」では、例年、劇団キラリによる人形劇「ウラップ伝説」の映像が上映されています。今年は新型コロナウイルスの影響により、水・キラリが中止となりましたが、町生涯学習センターあすばるでは、映像で使用している人形を展示しています。「ウラップ伝説」の場面を紹介するように人形を並べておりますので、伝説を再現した手作りの人形たちを、ぜひご覧ください。



あすばる所蔵品作品展

場所:あすばる展示コーナー

8月・9月の
お知らせ

8月展示

作 品	作 者
オオカサモチ	清水 克美
ねむろの四季(夏)	細見 浩

▶オオカサモチ



▶秋
阿寒湖付近



9月展示

作 品	作 者
秋 阿寒湖付近	細見 浩
初秋のトドワラ	小山田 武

(敬称略)

あすばる展示コーナーに展示する予定でしたが、あすばるが閉館になる可能性もあるため、標津町ホームページにて紹介しております。ぜひご覧ください。

「標津町 あすばる」で検索するか、QRコードから読み取りください。

標津町 あすばる



※作品の展示内容は、急きよ変更することがありますのでご了承ください。